

水と緑・環境グループからの提言

千葉市は大都市である一方で、豊かな海と水辺、緑に恵まれています。
大きな公園がたくさんあり、街並みがきれいなところもあります。



しかし、多様な市民ニーズに対応しきれていないことも事実です。
限られた予算の中で最大限の効果を得るための工夫が必要です。



中央区・都川
コンクリートの川



若葉区
立ち入り禁止の谷津



検見川の浜
整備不良で立ち入り禁止

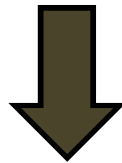


美浜区公園
バーベキュー禁止

過去



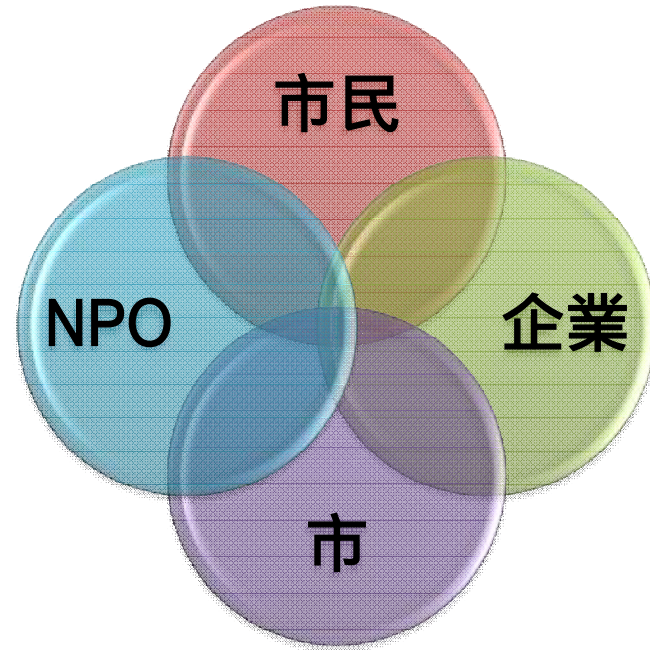
企画・実施・管理・運営



サービスの提供



未来



企画・実施・管理・運営

市が市民にサービスを提供するだけでなく
今後は市民と市が一体となって企画運営していくことが重要です。

水と緑・環境グループからの提言

海	岩山眞士
水辺	松澤茂好
緑	塩野貴之
公園・街路	皆川真規・馬場邦彦
開発のあり方	小河原俊夫
環境	河田幸恵・関口敏雄・田中さとみ
市民参加	宮川伸

提言1

豊かな海を活かした賑わいづくり！

豊かな海を活かした賑わいづくり

千葉市には、豊かな海岸線・眺望・海に開かれたスペースといった資源が都市部近郊にありながら、
『市民の多くは海を身近に感じていません！』



私たちの想い

豊かな海辺環境を保全しながら、
多くの千葉市民が、海に関心を向け親しみを持つための動機作りと
仕掛けを、提言します。

対応の方向性

海際マスタープランづくり

- ・海とその周辺を一体的に捉え、市民参加型の計画づくり
 - …保全と賑わいの区域分け、南北軸の交通体系、人工海浜の保全

既存の公園を魅力ある水辺空間に転換

- ・海際の公園を市民がより自由な活動ができるよう規制緩和
- ・公園の管理は部分的、段階的に民間・NPO等に移管
- ・県と市の管理区分を見直し、一体的な管理運営を可能に

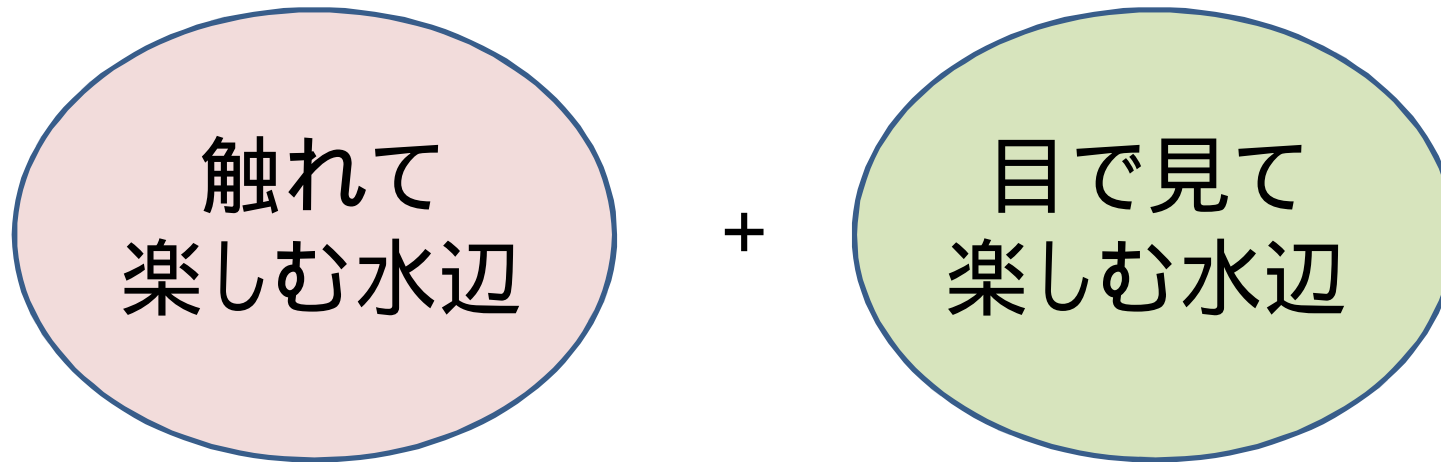
千葉市「海の日」を制定

- ・「海」「水辺」「緑」の自然と触れ合う日を制定
- ・市民主体の広域連携したイベントを開催、モノレールを半額に
- ・市民による一斉清掃の実施、モラルの向上

提言2

親しみのある水辺へ

親しみのある水辺へ



千葉県には軟弱な地質や湿地も多い

工事の負担が大きいところは、目で見て楽しむことのできる場所にしていく。

対応の方向性

千葉の川を知る

- ・マップ作成 源流ツアー

水と親しむ場づくり

- ・市民参加で選定・整備
- ・親水護岸 & 景観を楽しむ

水質の向上

- ・ごみ投棄・汚水の防止
- ・ホタルの生息できる場

親水域の管理

- ・市・民間・NPO等と併せ
- 市民参加型を推進

提言3

豊かな自然をもっと身近に感じたい！

提言3 豊かな自然をもっと身近に感じたい！

千葉市の自然(緑)はとても豊か

しかし、市民はあまり自然を身近には感じていず、それほど興味も持っていない

自然・緑地の保護、保全、管理はもちろんのこと、千葉市全体において自然を身近に感じられ、自然の中を歩く街にしたい！

- 市民主体の植生管理、ビオトープづくり
- ・雑木林、谷津田の開放など自然と触れ合えるような簡単な整備の実施
- ・散策マップ作成などによる市民への積極的なアピール



谷津はフェンスに覆われて・・・



散策が楽しめ、動植物と触れ合えるようにしたい！

提言3 豊かな自然をもっと身近に感じたい！

千葉市の農地面積は減少中

農地を保護し、市民が農業と触れ合えるようにしたい！

- 耕作放棄地などを活用した市民農園、体験農園の整備
- ・遊休農地活用のための土地所有者への支援
- ・農地を保護するための施策の確立



水田は放棄され、水路は閉じられ・・・



放棄水田を利用した体験農園などに！

提言4

もっと身近に感じられる公園と花と緑の街づくりを

提言4 もっと身近に感じられる公園と花と緑の街づくりを

動物公園や大規模公園は千葉市の宝

- 維持管理を採算のみで判断することには違和感
- 市民の希望一つ一つに答えることは財政上困難

市街地の緑化と花の溢れるまちづくりは、「通り」・道全体の雰囲気づくり

- 管理されて作られた通りが必ずしも住民のニーズとマッチしない。



「ゆたかに感じられる生活環境」を皆が実感できるように！

私たちの思い

公園や街並みについて、より市民が親しみを持てるよう、市民が中心となった企画運営体制を構築していくことを提言します。

提言4 もっと身近に感じられる公園と花と緑の街づくりを

公園等管理計画に住民参加

- 大規模な公園は、アクセス改善のための公共交通機関の整備を進める
- 身近な公園は、親子三代で利用可能な公園として、住民みずからの整備と市の整備を並行して進める

住民参加を中心とし、市が支える街路(樹・花)管理

- 市民団体、自治会による街路と街路樹の管理
- 住民が集える空間を作るための規制緩和
- 住民主体の管理地区に市の植栽予算を補助

市街地の緑化推進

市街地の空き地の緑化推進

- 私有地の緑化活用に税の優遇措置
- 市民団体による小中学校の校庭緑化推進
- 学校跡地は地域住民を含めた跡地利用検討委員会で早期に活用を図る

提言5

開発計画に大きな視点を

私たちの想い

- 私たちの暮らしにとって「水と緑・環境」は正に身近なものです。
- 「水は誰のものか、緑は誰のものか、環境は誰のものか」の視点・認識が重要です。
- 私たちは、地域の色々な実情に応じ、様々な手法も組み合わせ、地域住民との合意を図りながら環境豊かなまちづくりの推進を図ります。
- そして、人間を含めたすべての生き物に優しい環境づくりを進めます。

対応の方向性

乱開発の抑制

経済優先主義の乱開発防止を市民の立場から強く主張します。
(市街化調整区域の厳格運用・開発抑制)

自然環境の保全と創出

効率的で低コストなまちづくりを行うとともに、
自然緑地・森林・自然水辺環境の保全に努めます。

新たな開発の視点に向けた検討

都市部においては「自動車にとって便利な開発」から「自転車を中心とした開発(ソフト・ハード両面)」を進め、コンパクトシティ化への小さな一歩として、「日本における自転車都市のさきがけ」への検討を進めます。

自然との共存

豊かな自然を保護するとともに、それらが市民生活と一体化し、市民がその豊かな自然を身近に感じることができるようになります。
これまでの都市化のための大規模開発ではなく、自然との共存的開発を行います。

提言6

環境に配慮したまち『エコの街ちば』の実現へ

日本一を目標に 4つの対応の方向性

人口あたりのごみ排出量をもっとも少ない街ちば

--- ごみを減らす取り組み

リサイクルが最も盛んな街ちば

--- ごみの分別を細分化

自然エネルギーの利用割合が最も高い街ちば

--- Co2削減への貢献

都市部の緑化割合がもっとも高い街ちば

--- 市民が協力できる緑化活動の促進

目標を実現するために

周知・啓蒙活動

--- 人が多く集まる場所で能動的な活動を

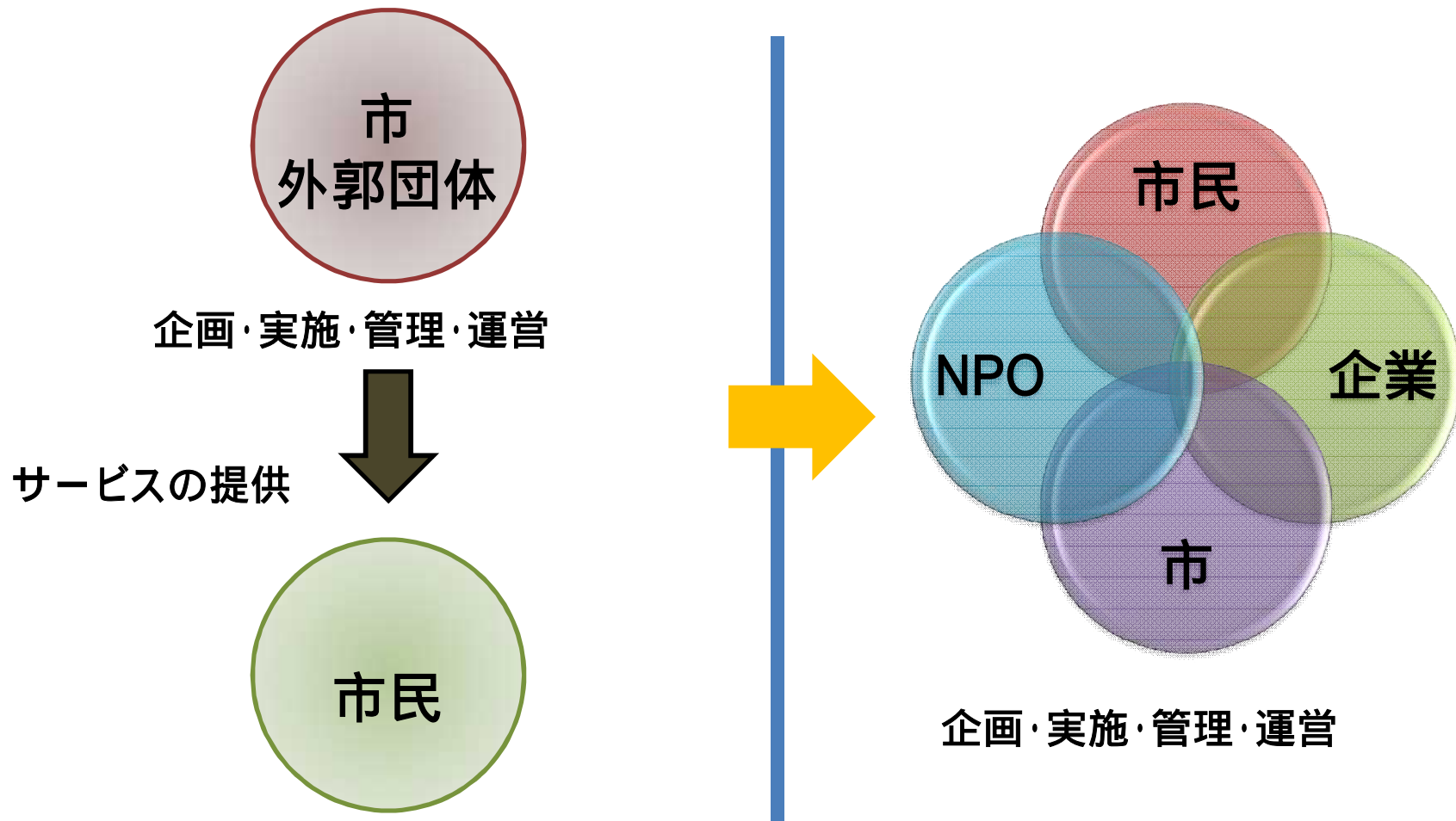
一人ひとりの行動に向けた支援

--- 市民・企業が協力できるように

提言7

市民が参加したまちづくり

市中心から市民中心へ

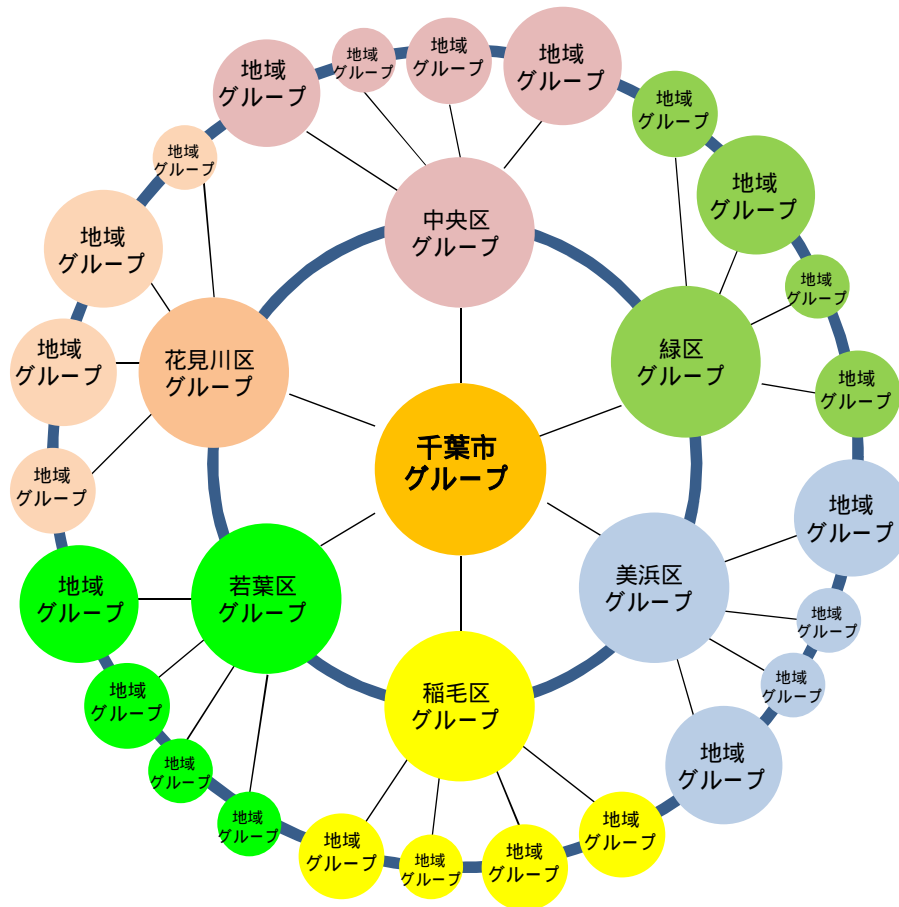


市が市民にサービスを提供するだけでなく
市民と市が一体となって企画運営していくことが重要です。

市民環境グループの創設

市民が中心となって公園・街路・水辺・緑地の企画運営を行う。

検討委員会を設置し、市民環境グループ設立に向けて具体的な検討を行う。



地域グループ

地域に根差した活動

区グループ

区の特徴を生かした活動

千葉市グループ

市の特徴を生かした活動

個性・独立性

横のつながり

総括

わたしたちは市民自治の大きな転換 点に立っています。

- 「税金を払っている」、「陳情すれば」、市が何とかしてくれる時代は終わりました。
- 「ゆたかに感じられる生活環境」を作り上げていくために、市民は自ら考え、行動しなければなりません。市はそれをサポートする体制を整えていかなければなりません。